

出前授業で興味関心を高め、トライやるウィーク（職業体験）に繋げる。

施設近隣の中学校と連携し、総合的な学習の時間にて介護のしごとに関する魅力を発信。介護の仕事に対する中学生の興味関心を高め、職業体験へ繋ぐ取り組みとは。

【取組のポイント】

- 近隣の中学校の総合的な学習の時間に出前授業を実施している。1年生の3学期に出前授業を実施し、2年生の1学期に行われるトライやる・ウィークで介護事業所を選んでもらえるよう注力している
- 出前授業では、介護のしごと紹介のDVDの他施設や利用者の写真を多用し、中学生が視覚的にも理解しやすい内容としている。また、移乗用リフトやインカム・ICT関連機器の導入により利用者・介護者の双方にとって安全で安心なケアが提供されていることの理解を促している
- 授業後のアンケートでは「介護のしごとに興味をもった」「介護施設にも一度行ってみたい」という回答が非常に多い

当初は中学2年生の冬に実施していたが、トライやる・ウィークを控えた中学1年生をターゲットに。

養護老人ホームことぶき苑では、地域の子どもたちに介護に対するイメージを深めてもらい、将来の仕事に介護の仕事を選択肢として選んでもらえるよう、平成25年頃から近隣中学校への出前授業を実施している。

令和4年度までは2年生の3学期に出前授業を行っており、受講後のアンケート結果も好評であった。

しかし、中学2年生の春に実施されるトライやる・ウィーク（職業体験）の体験先に介護事業所を希望する学生が少ない現状があったことから、体験先の希望調査で介護事業所が選ばれるよう、1年生の冬に出前授業を実施するよう中学校と調整した。

介護のしごと紹介動画、施設の写真や介助のデモンストレーション

出前授業では、講話だけではなく、介護のしごと紹介動画や施設内の写真を活用した紹介、介助のデモンストレーションを行うことで、学生に視覚的にも



理解を促し、飽きさせないよう工夫している。

特に近年は、「介護のしごとは重労働」というイメージの払拭に向け、利用者と介護者双方にとって安

全で安心なケアを提供できる様になってきていることについて、学びを深めてもらう機会としている。安全で安心なケアを提供するためには知識や技術を要することも伝え、介護現場で活躍している福祉機器の導入状況やICT関連機器の紹介、現場で働く職員の声なども伝えている。

【出前授業実施例：総合的な学習の時間（50分）】

- 1 DVD「楽介護 たのしく働く、高齢者を支える 介護の仕事（一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会作成）」（15分）
- 2 ことぶき苑の紹介と変わりつつある介護の仕事（ノーリフティングケア・ICT関連機器の導入例）の紹介（20分）
- 3 立ち上がり介助のデモンストレーション（5分）

1時間の体験でも、介護のしごとのイメージは変わる。

出前授業を実施した先生からの報告では、トライやる・ウィークの行き先希望調査において介護事業

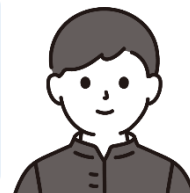
所を選択する生徒数も増加傾向にあるとのこと。

【出前授業 受講者の声】



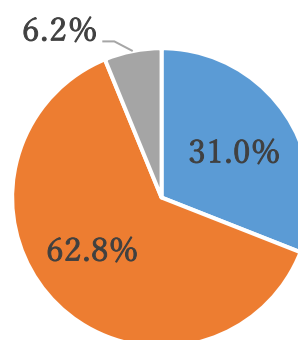
今までの介護のイメージは、力仕事ばかりで体力勝負というイメージだったけど、今は機械を使って職員の人も利用者の人もお互い安全で楽ということを知りました

最新の技術やリフトを使って介護していて、できるだけ負担を軽減していることも分かって僕もトライやる・ウィークで介護の体験を試してみようかなと思いました



【受講アンケート（R7実施 113名回答）】

出前授業を聞き、介護の仕事に興味が持てましたか？



■興味を持てた ■少し興味を持てた ■興味を持てなかった

Message

施設に来てもらうためには、まず「出向く」ことから

出前授業は、一度に多くの人に伝えることができる有効な手段だと思います。若い人に介護の仕事へ興味を示してもらえよう、利用者の感情に寄り添い、感動できる場面をたくさん作り出せる魅力のある仕事であることを伝えていただきたいです。

今後は、より体験型の出前講座へ

今後は、移乗用リフトなどを用いた体験や車いす介助体験など、学生のみんが体をを使う体験を通じて、介護のしごとの魅力を伝えていきたいと思っています。

<問い合わせ先>

養護老人ホーム ことぶき苑
豊岡市日高町祢布 1304 TEL:0796-42-0430

